

臨床研修修了にあたり

臨床研修修了にあたり

Aコース臨床研修歯科医 石塚公都

この度執筆の機会を賜りました2025年度臨床研修Aコース研修歯科医の石塚公都です。

まず始めにこの場をお借りして、藤井規孝教授をはじめ歯科総合診療科先生方に、日頃より温かいご指導頂いておりますことに厚く御礼申し上げます。また共通研修でご指導頂いた診療科先生方、日頃よりお世話になっております臨床研修センター齋藤様、病院関係者の皆様におかれましても大変感謝申し上げます。

臨床研修Aコースは、歯科総合診療科で1年間研修を行うプログラムです。例年Aコースの人数は十数人いたのですが、今年度は5人しかいない状況でした。私自身、学生時代は模型実習や臨床実習でうまくいかないことが多く、研修前はやっていけるのか正直不安が大きかったです。しかし実際に研修が始まってみると、とても充実した研修を送ることができました。例年は二人一組でペアを組んで診療をしていたそうですが、今年度は診療の空いている研修医がその都度補助に入るようにして診療を行っていました。そのため、Aコースの患者さん全体としてどのような状態の患者さんがいて、どのような問題点があって治療方針を組んでいるのかを学ぶことができ、症例に対する理解を深めることができたと思っています。そして何より無事に研修を行うことができているのは、先生方の支えがあってからこそだと思っています。研修医の人数は少なかったですが、その分厚くご指導を頂くことができ、どこがよくなかったかなど改善点をその都度学ぶことができました。先生方には多々ご迷惑をおかけし

たかと思いますが、辛抱強くご指導いただき、大変感謝しています。

同期の研修医は5人全員男で、人数が少なかった分、絆を深めることができたと思います。大変なこともありましたが、お互い励ましあって支えながら、乗り越えていくことができたと思います。休日には全員で遊びに出かけたり、飲み会をしたりと、プライベートでも楽しい時間を過ごすことができました。むしろこの5人だったからこそ、これだけ充実した研修医としての日々を過ごせたと思っています。Aコースの研修医として一緒だった4人にも感謝したいです。

1年間の研修を通して多くのことを学んだことで、歯科医師としてまだまだ不足している部分も多くあると感じました。研修医として学んだことを大切にして、今後も勉強に励みたいと思いました。



臨床研修終了にあたり

Bコース臨床研修歯科医 小杉沙綺

この度執筆の機会を賜りましたプログラムB研修歯科医師の小杉沙綺と申します。プログラムBは、新潟大学の専門診療科と協力型研修施設の双方で、それぞれ半年ずつ研修を行うコースです。私は4月から9月まで長岡赤十字病院にて研修を行い、10月からは新潟大学医歯学総合病院の口腔再建外科にて研修させていただきました。

私は研修期間を通して前半・後半ともに口腔外科を中心とした診療に携わらせていただきました。外来診療では、抜歯をはじめとする口腔外科処置や周術期口腔管理、粘膜疾患、腫瘍の術後経過観察など、多岐にわたる症例を経験しました。いずれの場面においても、指導医の先生方の丁寧なご指導のもとで診療に参加し、基礎的な知識と実践的な技術を学ぶことができました。また、口腔癌、顎変形症、嚢胞などの全身麻酔下での手術にも助手として関わらせていただきました。

臨床研修開始当初は、大学で学んできた知識と実際の臨床現場との違いに戸惑うことも多くありました。特に、水平埋伏智歯抜歯や手術前後の全身管理など、これまで経験したことのない処置や対応に直面し、歯科医師としての責任の重さを強く実感しました。そのような中でも、先生方が一

つ一つの症例について丁寧に指導していただき、自身の改善点や課題を明確に示していただいたことで、徐々に自信を持って診療に臨めるようになりました。

さらに、患者とのコミュニケーションも重要であると実感しました。外来で行う口腔外科処置に対して不安を抱く患者さんは多く、術前に分かりやすく説明を行い、術中にも声かけをすることで、患者さんの不安軽減につながることを学びました。医療技術だけでなく、患者さんの気持ちに寄り添う姿勢が診療において非常に大切であると感じています。

一方で、自身の知識や経験の不足を痛感する場面も少なくありませんでした。学んできた知識を臨床の場で十分に活かさないことや、処置中に迅速な判断や臨機応変な対応が求められる場面では、未熟さを感じることも多くありました。これらの課題を克服するためにも、今後も継続して学習と経験を重ねていく必要があると考えています。

最後になりますが、日々ご指導いただきました先生方をはじめ、歯科衛生士、看護師の皆様により感謝申し上げます。この一年間の研修で学んだことを忘れず、今後も歯科医師として研鑽を積み、より良い医療を提供できるよう努力してまいります。最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。

臨床研修終了にあたり

Bコース臨床研修歯科医 野村陽菜

この度、執筆の機会を賜りました研修歯科医師の野村陽菜です。研修プログラムBで研修を行っています。プログラムBは、新潟大学の専門診療科と協力型研修施設で半年間ずつ研修するコースです。私の場合は、4～9月は新潟大学の義歯診療科で、10月からは会津中央病院の歯科口腔外科にて研修を積ませていただいております。

前半の研修先の義歯診療科では、義歯、クラウンブリッジによる補綴処置やう蝕・根管治療などの保存修復処置を多く経験させていただきました。患者様一人一人の口腔内を一口腔単位で捉え、全体を考慮した治療計画を立案することは決して容易ではありませんでした。しかし、診療ごとに指導医の先生方からフィードバックをいただき、その内容を踏まえて次の診療に活かすことで、事前に十分な準備を行うことの重要性を学びました。これまでの治療での反省や失敗を糧に、患者様の問題点から必要な治療を考える力を鍛え

ることができました。

10月から会津中央病院の歯科口腔外科での研修が始まりました。会津中央病院では、抜歯や全身麻酔下での手術、入院患者の口腔管理、嚥下評価など幅広い診療を経験させていただいております。これまで抜歯や嚥下評価を行う機会がなかったため、思うようにいかない場面も多くありました。しかし、指導医の先生方のご指導のもと、どのようにすれば改善できるのかを考えながら診療に取り組むことで、少しずつではありますが、自身のレベルアップを実感しています。また、口腔内だけでなく、全身状態を踏まえた評価の重要性を学ぶことができました。

最後になりますが、ご指導いただきました先生方、歯科衛生士の皆様に感謝申し上げます。歯科医師としては未熟ですが、研修医として1年間学んだことを忘れずに、今後も日々努力していきたいと思っております。そして、患者様に満足していただけるような治療ができる歯科医師になりたいと思っております。最後までお読みいただき、ありがとうございました。



新潟大学義歯診療科にて 筆者前列右から3番目